

2019 年第 18 回日本旅行医学会大会 ポスター発表 抄録応募(作成例)

下記に必要事項を記入のうえ、E-mail で info@jstm.gr.jp 宛てに添付ファイルでお送りください。

メールの件名は「**ポスター発表(発表者名)**」としてください。

受領後に事務局より受領確認メールをお送りしますので受領メールが届かない場合はご連絡ください。

会員番号が不明な方は事務局へお問い合わせください。

発表者名 [旅行 太郎] 会員番号(又は管理番号) [00001234 (X012345)]

所属 [○○○○病院 ○○科]

共同発表者名 [東京 次郎(X098765) / 大阪 三郎(X999999)]

E-MAIL アドレス [XXXXXXX @ XXX.XXX.XX]

TEL [XX-XXXX-XXXX (代表)]

FAX [XX-XXXX-XXXX]

住所 [〒XXX-XXXX ○○県○○市○○ XX-X-X]

.....抄録本文(記入).....

【タイトル】 『○○○○○病院におけるトラベルワクチン接種の現況について』

【序文】

○○○○○病院ではトラベルクリニックを特に設けてはいないが、旅行医学会のホームページを参照してトラベルワクチンの接種を希望する旅行者が時々見られる。決して多い数ではないが、その現況について述べる。

【内容】

2006 年 1 月から 2011 年 9 月までトラベルワクチンを希望され当院受診された方は 23 名であった。男性 12 名、女性 11 名とほぼ同数であった。渡航先は中国本土が 9 名と最も多く、以下マレーシアやカンボジアなどの東南アジアが多かった。アメリカ合衆国へ留学の際のワクチン接種も見られた。渡航目的は出張もしくはその配偶者が最も多く 13 名であった。その他留学や海外青年協力隊という目的もあった。接種ワクチンは A 型肝炎と B 型肝炎ワクチンが最も多く 17 名が接種しており、他に破傷風や日本脳炎ワクチンの接種の希望があった。留学希望者には麻疹やムンプスも見られた。最も問題となるのは初診時日本出発までの日数で、平均 26.75 日でほとんど 2 回目の接種を行う余裕がない状況が多数見られた。複数種の接種を希望する方が多く、同時接種を余儀なくされた。2 回目の接種ができた例は 15 例であった。半年後の 3 回目の接種に当院へ来院されたケースは皆無であった。

【結論】

当院でのトラベルワクチン接種で見られた傾向は、来院された時点ですでに日本出発までの日が迫っているケースが多く、余裕をもった接種ができていないのが現状である。学会を中心にトラベルワクチン接種の必要性、接種時期などについて、正確に啓蒙していく必要があると思われた。